

鶴田 美知子

本賞



概要

氏名 鶴田 美知子
推薦団体 熊本市
主な活動地 熊本市

これまでの主な活動歴

昭和五十一年 「肥後てまり同好会」に入り制作開始
昭和五十四年 「肥後てまり」が熊本県伝統的工芸品に指定
平成五年 「肥後てまり同好会」代表となる
平成二十二年 肥後のつりてまり 指導・監修

役職

- 一般社団法人くまもと工芸協会会員
- 熊本県伝統工芸協会理事
- 「肥後てまり同好会」代表

鶴田美知子氏は、昭和五十一年から長きにわたり、熊本県の伝統的工芸品に指定されている「肥後てまり」を制作されている職人です。

「肥後てまり」は、芯に入チマを使い、綿ぐるんで木綿糸を均等に巻いた土台に基礎綿を入れた後、「肥後六花」などの伝統的な文様をかがり制作します。江戸期から肥後の女性たちに代々受け継がれてきた伝統手法を守りながら、氏は、幾何学模様で「きずな」を増やした新しい作品作りにも挑戦されています。

平成五年から、「肥後てまり同好会」の代表を受け継いで後進の指導を行うほか、平成二十二年から、熊本市下通繁栄会が主催する「肥後のつりてまり」に賛同し県内の各企業の職員や学生に「てまり作りの講習会」を行うなど積極的な活動を続けておられます。

このように、氏は、伝統的工芸品である「肥後てまり」の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。